

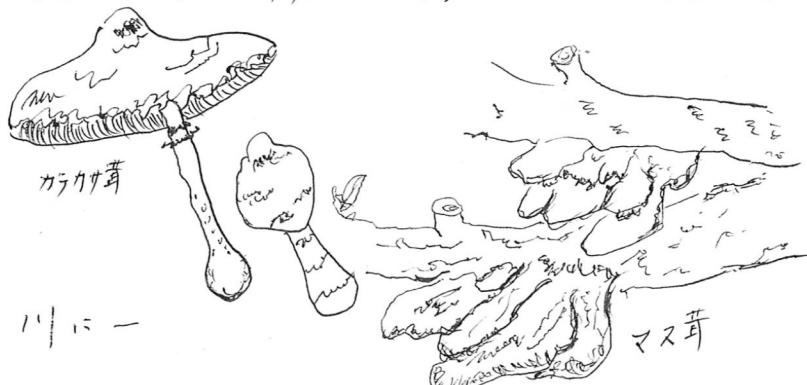


右馬先(なまこ)

昨日は彼岸入りで墓参りと早めに終え正介は白川へ魚占釣りに泊りかけて出かけていきました。明けて本日は久々の雨、温度もグンと下がり大地も潤い秋の静けさをよりよく感じています。暑さ寒さと彼岸まで暑い暑いと騒ぐことばかりだと反省しています。今日はこれからでしょうか、本命の姿を見せません。雨と涼しさが欲しいばかりでござります。(ちなみ、正介さん初日は1匹又日は14匹)

やぶ椿の赤やとでもいい。鬼って迎えた看くがい草の紫、夏椿の白、若赤紅のワインレッド、秋海棠のベビーピンク、時の移ろいと共に花開くその色が本当にきれいです。今は紫苑の紫が心を洗われる程に美しく。秋明菊もしかし、元気は次から次と咲いてくれます。青じその大葉がおいしそうになって来ました。2、3日うちには佃煮になります。しその風味がとてもいいんです。

昨日、今日と山へ食材を確保する為に若者達は右馬先を休みにて出かけていきますが雑木のこじら数本と悲しい現実です。今日は雨の中9時15分を着て出発しましたが降ったといつて行く出詫も無し割の合ひない徒渉となるのでしょうかで行かないよりはましです。正介さんへ頃より自然の恵みを十分に使ってお客様に喜んでいたところ右馬先の真情にてきましたから、きのこの時期にすると毎朝山に行くことを決めて実行していますから頭が下がります。今日は長女の久美と一緒にからちよと安心している。暗くなりかけた6時過ぎ度りました。歩けば内容をいれなければそれなりに山の恵みはいたどける。やはり感謝の念は沸くようである。少し謙虚な感じはないかを感じます。



一山一川に一

釣りの面白さにはまた正介は1人でも充分楽しめます。今回の白川への魚占釣り魚占の引きがすこからしく興奮のあまり詰みました。魚占掛けは引きの強さに引き込まれ